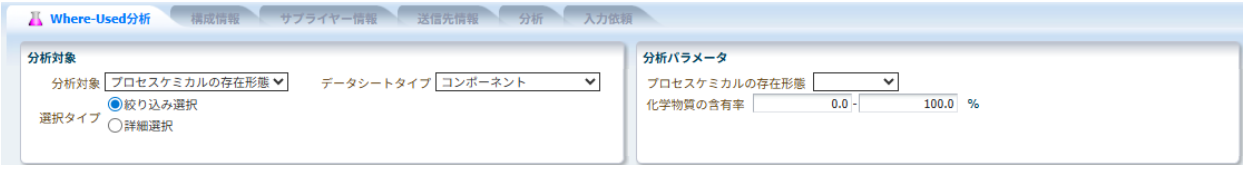
2026 年 4 月 28 日
IMDS 本番ロールアウトは 2026 年 5 月 11 日を予定しています。

IMDS Release 15.3 情報

機能的な変更

1.「プロセスケミカルの存在形態」に関する分析オプション

参照されている「プロセスケミカルの存在形態」に関する新しい分析オプションが、Where-Used 分析画面に導入されます：



画像 1: Where-Used 分析における新しい分析タイプ

プロセスケミカルの存在形態をデフォルト選択(いずれか)のままにした場合、指定された含有率に該当するプロセスケミカルについて、存在形態が空白でないものが選択されているすべてのデータシートが検索されます。
代わりに、3 つの利用可能なプロセスケミカルの存在形態(意図的使用、反応残留物、不純物)のいずれかを選択した場合、指定された含有率に該当する物質について、その選択された化学物質の存在形態が設定されているプロセスケミカルを少なくとも 1 つ含むデータシートのみが検索されます。
同じ検索条件は、データシートの構成情報画面内にあるツリー検索ダイアログでも利用可能になっています：

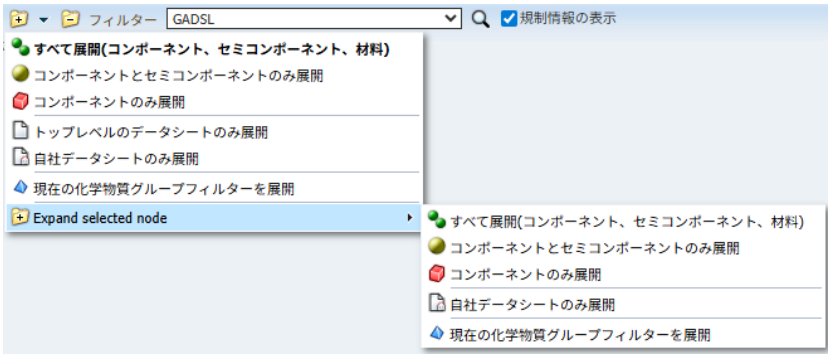
画像 2: ツリー検索ダイアログにおける新しい検索条件

このダイアログでは、検索条件として「いずれか」または 3 つの存在形態のいずれかを選択することもできます。
これらの新しい検索条件を使用して Where-Used 分析で見つかったデータシートを開くと、同じ条件でツリー検索が自動的に実行され、該当するプロセスケミカルの参照の最初の一致箇所が選択されます。

2.「ツリー展開」機能の追加オプション

リリース 15.1(リリースノート参照)では、データシートの構成情報画面における「ツリー展開」機能に追加オプションが拡張されました。これらのオプションはすべてデータシート全体を対象としており、例えば「コンポーネントのみ展開」を選択すると、読み込まれているデータシート内のすべてのコンポーネントノードおよび参照が展開されます。

今回、新たにサブメニューが追加され、選択した基準に基づいて選択ノードのみを展開できるようになりました：



画像 3: 「選択ノードを展開」サブメニュー

オプション	説明
すべて展開(コンポーネント、セミコンポーネント、材料)	選択したノード/参照を完全に展開します。
コンポーネントとセミコンポーネントのみ展開	コンポーネントとセミコンポーネントのみ展開します。 すべての材料は折りたたまれた状態になります。 *このオプションは、選択したノード/参照がセミコンポーネントまたはコンポーネントである場合にのみ利用可能です。*
コンポーネントのみ展開	選択したノード/参照と、その中に含まれるすべてのコンポーネントを展開します。すべてのセミコンポーネントおよび材料は折りたたまれた状態となります。 *このオプションは、選択したノードがコンポーネントである場合にのみ利用可能です。*

オプション	説明
自社データシートのみ展開	選択したノード/参照と、その中に含まれる自社のモジュール/データシートへのすべてのノード参照を展開します。 承認データシートまたは公開データシートへの参照はすべて折りたたまれた状態となります。 *このオプションは、選択したノードが自社のモジュール/データシート、またはその内部のノードである場合にのみ利用可能です。*
現在の化学物質グループフィルターを展開	該当する化学物質を含まないすべての参照およびノードは折りたたまれた状態になります。 選択したノード/参照と、その中で選択した化学物質フィルターに該当する化学物質を少なくとも 1 つ含むすべてのノード/参照を展開します。フィルターとして GADSL が選択されている場合、少なくとも 1 つの要申告物質または禁止物質を含む材料が展開されます。 関連する化学物質を含まないすべての参照およびノードは折りたたまれた状態となります。

3. 入力依頼の受信済み一覧 / 送信済み一覧にリクエスト ID を表示

「自社から他社への入力依頼」および「他社から自社への入力依頼」の両方の検索画面に、入力依頼の ID に関する検索条件フィールドが追加されました。この ID は検索結果にも表示されます。

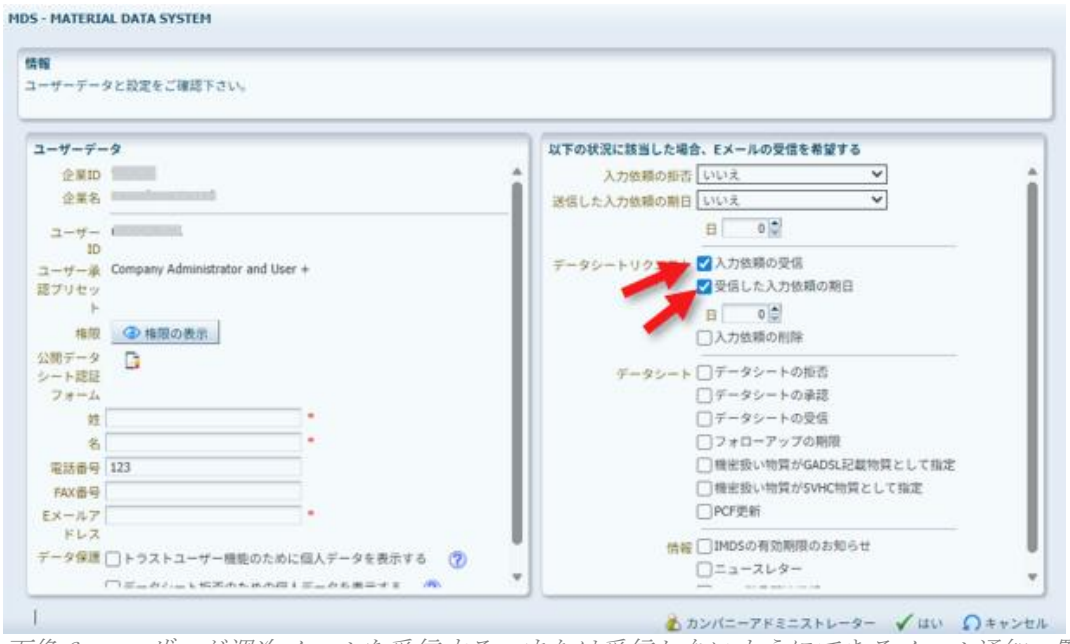
画像 4: 「自社から他社への入力依頼」検索における ID フィールド

画像 5: 「自社から他社への入力依頼」検索における ID フィールド

このIDは入力依頼のIDであり、割り当てられたデータシートのIDとは異なる点にご注意ください。

４.未確認の入力依頼に関する週次メール通知

企業内で「入力依頼の受信」または「受信した入力依頼の期日」に関するメール通知に登録しているユーザーがいない場合、入力依頼の見落としを防ぐために、すべてのカンパニーアドミニストレーター(ユーザー変更権限を持つユーザー)に対して週次サマリーが送信されます。
「入力依頼の受信」メール通知に登録している有効なユーザーがいない場合、そのメールには過去7日以内に受信した未処理のすべての入力依頼の一覧が含まれます。
「受信した入力依頼の期日」メール通知に登録している有効なユーザーがいない場合、そのメールには今後7日以内に期限を迎える未処理のすべての入力依頼の一覧が含まれます。



画像 6: ユーザーが週次メールを受信する、または受信しないようにできるメール通知一覧

新規および期限到来の入力依頼の両方に関して、メールには以下の情報が含まれます：

- 入力依頼日
- データシートタイプ
- 依頼者
- 部品番号、材料コード
- 名称

• 期限
両方の条件が該当する場合、各カンパニーアドミニストレーターには新規および期限到来の入力依頼のリストを含むメールが1通のみ送信されます。
企業に未処理の入力依頼がない場合(そもそも受信した入力依頼がない、またはすべて既に回答済みの場合)、ユーザーがいずれのメールにも登録していなくても、メールは送信されません。

５.新しいパスワード有効期限ルール

ユーザーのパスワードは、もはや90日ごとに変更する必要はありません。
また、パスワードを変更する際に、過去6回のパスワードと異なるものを選ぶ必要もなくなります。
短く推測されやすいパスワードの代わりに、長く安全なパスフレーズを使用することを強く推奨します。

チェックの変更

１.材料分類 7.2(セラミック/ガラス)チェックから銅を除外

これまでの銀や金と同様に、銅(CAS 7440-50-8)も、材料分類7.2(セラミック/ガラス)の材質構成チェックから除外されました。
これにより、材料分類7.2の材料で銅含有率が80%以上の場合でも、チェックで警告メッセージが表示されなくなります。
そのため、銅は「Chk: Classification 1-4 w/o silver, gold」の化学物質グループから削除され、グループ名称は「Chk: Classification 1-4 w/o silver, gold, copper」に変更されました。
この変更は、FAQにリンクされているList of errors and corrections in IMDSにも反映されています。

２.不足している REACH 規制情報に関する、より明確なエラーメッセージ

少なくとも1つのREACH Annex XIV物質を含む材料については、規制ウィザードにおいて、その材料の作成者がREACH規制情報を入力する対象となります。またコンポーネントがそのような材料を少なくとも1つ含む場合、そのコンポーネントもREACH規制情報入力の対象となります。ただし、この情報はコンポーネントの作成者が入力する必要があります。

規制情報が不足している場合、現在のエラーメッセージは、いずれの場合も「REACH規制情報を入力してください。」と表示されます。

規制情報が材料に対して不足しているのか、あるいはコンポーネントに対して不足しているのかをより明確にするため、メッセージはそれぞれ「REACH 材料規制情報を入力してください。」または「REACH コンポーネント規制情報を入力してください。」と表示されるよう更新されます。